

東 経 連 情 報

2024年1月9日

「第5回東経連カーボンニュートラル勉強会」 の開催について(取材のご案内)

一般社団法人東北経済連合会(会長:増子次郎)では、1月19日(金)に仙台市において、「第5回東経連カーボンニュートラル勉強会」を開催いたします。

当会では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国の政策を踏まえ、東北・新潟の地域企業における対応の方向性について会員企業とともに意見交換を行いながら検討を進めるため、一昨年12月より「東経連カーボンニュートラル勉強会」を開催しております。

5回目となる今回は、カーボンニュートラルとの関わりにおいて、「生物多様性とネイチャーポジティブ経営」をテーマといたします。

意見交換部分も含めて全て公開となりますので、是非ご取材くださいますようお願い申し上げます。

【開催概要】

- 日時: 2024年1月19日(金) 14:00~16:00
- 会場: ホテルモントレ仙台 3階「ルツェルナ」(仙台市青葉区中央4丁目1番8号)
- 参加者: 当会会員約100名(会場約30名、オンライン約70名)
- 次第:
 - 開会(14:00)
 - 挨拶(14:00~14:05)
東経連カーボンニュートラル勉強会 座長(一般社団法人東北経済連合会 副会長)
宮本 保彦
 - 講演①(14:05~14:45)
演題:「ネイチャーポジティブの実現に向けて」
講師: 環境省 東北地方環境事務所 統括自然保護企画官
兼 次長(自然環境グループ) はいさ ゆきひろ 羽井佐 幸宏 氏
 - 講演②(14:45~15:25)
演題:「ネイチャーポジティブ経営の重要性」
講師: 東北大学グリーン未来創造機構/大学院生命科学研究科教授
「日経 ESG」シニアエディター ふじ た かおり 藤田 香 氏
 - 質疑・意見交換(15:25~15:55)
 - 閉会(15:55~16:00)

【取材のご案内】

- ご取材いただける際は、下記問い合わせ先メールアドレスに次の①~③を記載の上、事前申込みをお願いします。①貴社名 ②お名前・ふりがな ③連絡先携帯電話
- 開催時間までに直接会場にお越しください。
- オンラインによる視聴は、前日までに下記 URL からご登録ください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/d2188c42221286>

(本件の問い合わせ先) 一般社団法人東北経済連合会 経済政策グループ 佐藤五郎
TEL:022-397-6692 E-mail g-sato@tokeiren.or.jp

【用語解説】 ネイチャーポジティブ

ネイチャーポジティブとは、「生物多様性の損失を止め、反転させること」である。2021年に英国で開催されたG7サミットの首脳コミュニケの付属文書「G7 2030年 自然協約」では、「G7 諸国は生物多様性の損失を止め反転させることを使命とし、(中略) ネイチャーポジティブを達成しなければならない」ことが盛り込まれた。また、2022年12月の生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」には、ネイチャーポジティブという用語こそ盛り込まれなかったが、「2030年までに自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止めて反転させる緊急の行動をとる」という「ネイチャーポジティブ」の考え方が盛り込まれた。

ネイチャーポジティブは、気候変動の「カーボンニュートラル」と並ぶ生物多様性・自然分野における重要な考え方となっている。

《※藤田香教授の著書「生物多様性・ネイチャーポジティブ経営」P.30から引用》

【講師略歴】

■羽井佐 幸宏 (はいさ ゆきひろ) 氏

環境省 東北地方環境事務所 統括自然保護企画官 兼 次長 (自然環境グループ)

(※) 略歴につきましては勉強会当日にお配りいたします。

■藤田 香 (ふじた かおり) 氏

東北大学グリーン未来創造機構 / 大学院生命科学研究科教授
「日経 ESG」シニアエディター

(略歴)

富山県魚津市生まれ。東京大学理学部物理学科卒業。

日経 BP に入社し、「日経エレクトロニクス」記者、「ナショナルジオグラフィック日本版」副編集長、「日経エコロジー」編集委員、「日経 ESG 経営フォーラム」プロデューサーなどを経て、現職。生物多様性や自然資本、持続可能な調達、ビジネスと人権、ESG 投資、SDGs、地方創生などを追っている。環境省中央環境審議会委員。

著書に『ESG と TNFD 時代のイチから分かる 生物多様性・ネイチャーポジティブ経営』

(2023年) 『SDGs と ESG 時代の生物多様性・自然資本経営』(2017年) などがある。